

S-COAT Mix 施工マニュアル

技－202001-001

2020年1月

富士川建材工業株式会社

- 仕上げの種類：内装用既調合しっくい
- 商品名：S-COAT Mix
- 適用下地：せっこうボード：スクエアエッジ（突きつけ）推奨
- 適用下塗り材：SS プラスター（ボード用せっこうプラスター）
- 使用材料

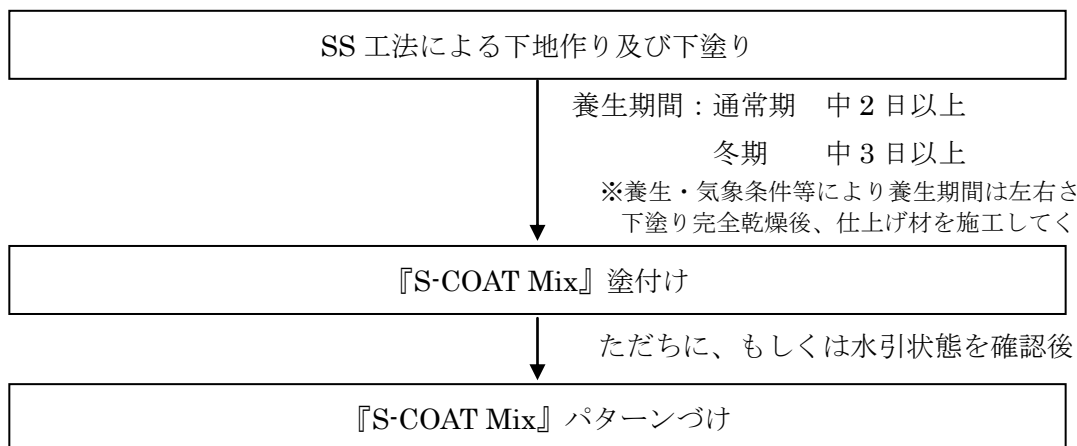
	使用材料		塗付方法	標準施工量
SS 工法	ジョイントテープ	SS テープ (ガラス繊維メッシュ粘着剤付 50mm 幅×153m/巻)	貼り付け	—
	下塗り材	SS プラスター (ボード用せっこうプラスター) 20kg/袋	コテ塗り	2mm 厚:約 10m ²
仕上げ材 施工	S-COAT Mix	15kg/ケース	コテ塗り	約 15 m ²
	白竜 1 厘または 同等品 (市販品)	S-COAT Mix 15kg/ケースに対して 15kg 混入	—	—

※ 上記各数値は全て標準のもの

注) 施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じます。

- コテ波仕上げ、イタリック仕上げの場合は 1 ケース (15kg) に対し白竜 1 厘 (または同等品) 15kg を現場混入して使用します。(同等品の場合、仕上がり色が変わることがありますので、ご確認ください。)

< 施工の流れ >



<主な施工道具>

- ・金ゴテ（剣先）
- ・木コテ
- ・プラスチック製木コテ 等

●施工方法

(1) 下地作り

※間隔時間は目安です。環境条件によって異なります。

工程	使用材料	塗回数	間隔時間			使用道具	施工方法
			工程内	工程間	最終養生		
SS工法	下地作り せっこうボード (スクエアエッジ推奨) SSテープ 等	—		—		—	ボードの浮きビスなどは打ち込んで平らにし、ボード自体に浮きがあれば固定し、ジョイント部は SS テープを貼ってください。 ※ビスは防錆加工したものを ご使用ください。※下地の破損箇所や不陸の目立つ部分はあらかじめ SS プラスターで補修してください。
	下塗り SS プラスター 主材 : 20kg 清水 : 9~10L	2	追っかけ	通常期 中 2 日以上 冬期 中 3 日以上	—	金ゴテ	コテで 1mm 程度こすりつける様に塗り付け、追っかけ 1mm 程度塗りコテで平滑に押さえてください。 ※ SS プラスターの可使用時間: 約 60 分 1 回の練り量は必ず 60 分以内で使い切る量にしてください。

・下塗り材 (SS プラスター) の練り混ぜ

プラスチック又はステンレスの容器に基準水量 (約 9~10L) の 8 割まで水を投入し、電動攪拌機で攪拌しながら主材を加え、ダマにならないようにしっかり混ぜ合わせます。

材料が馴染んだら、残りの水を加え作業しやすい状態に練り混ぜます。

(注) 1 回の練り量は必ず 60 分以内に使い切る量とし、練り足しは絶対に避け、材料を完全に使い切つて、容器を水洗いしてから、次の材料を練り混ぜてください。

詳細は『SS 工法施工マニュアル』をご確認ください。

(2) 仕上げ材 (S-COAT Mix) の塗り付け

工程	使用材料	塗回数	間隔時間			使用道具	施工方法
			工程内	工程間	最終養生		
仕上げ塗り	下付け	i) コテ押さえ仕上げの場合 S-COAT Mix : 15kg	—	追っかけ	—	金ゴテ (仕上げ材用ステンレス製)	下塗り (SS プラスター) 乾燥後、下地にこすりつけるように全面に塗り付けます。
	上付け	ii) イタリック仕上げ、コテ波仕上げの場合 S-COAT Mix : 15kg	—	パターンによる	—		追っかけで塗り付け全面に均一に材料を配ってください。
	パターン付け	白竜 1 厘 : 15kg	—	—	24 時間以上	仕上げゴテ、木ゴテ等	各種パターンによる (参照 P.4~)

- S-COAT Mix は加水せずそのまま施工して頂けますが、水が浮いている場合は電動攪拌機で攪拌してから施工してください。材料が硬く施工しづらいと感じる場合は、電動攪拌機で攪拌しながら少量ずつ加水し、施工しやすいやわらかさに調節してください。
- 記載の工程間隔 (乾燥) 時間はあくまで目安であって、環境や施工時期・面積等によって異なります。なるべく余裕をもって工期を設定してください。

<< パターン付け方法 >>

目次

- ① コテ押さえ仕上げ（フラット仕上げ）
- ② イタリック仕上げ
- ③ コテ波仕上げ（テラ仕上げ）

① コテ押さえ仕上げ 施工方法

工程		施工方法	塗回数	使用道具
仕 上 げ 塗 り	下付け	P.3 参照	2	金ゴテ
	上付け ・パターン付け (押さえ)	上付け後、水引き状態を確認し、表面を押さえます。 [参照] 図-1		金ゴテ
				仕上げゴテ

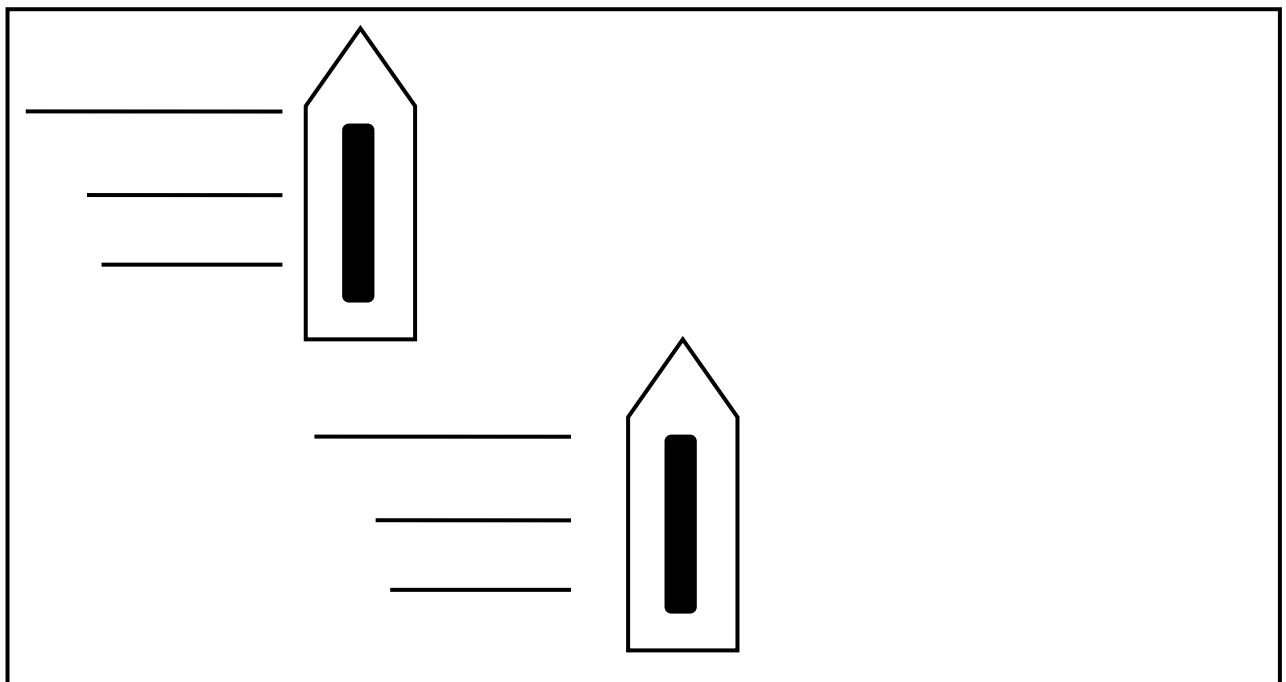


図-1

② イタリック仕上げ 施工方法

工程		施工方法	塗回数	使用道具
仕上げ塗り	下付け	P.3 参照	2	金ゴテ
	上付け ・パターン付け			木ゴテ プラスチック製 木ゴテ

<施工のポイント>

- ・ 斜め S 字状にランダムに動かし、パターン付けを行います。(図-1)
- ・ ボリュームの強弱を付けることにより、立体感が生まれ、動きを感じることが出来ます。

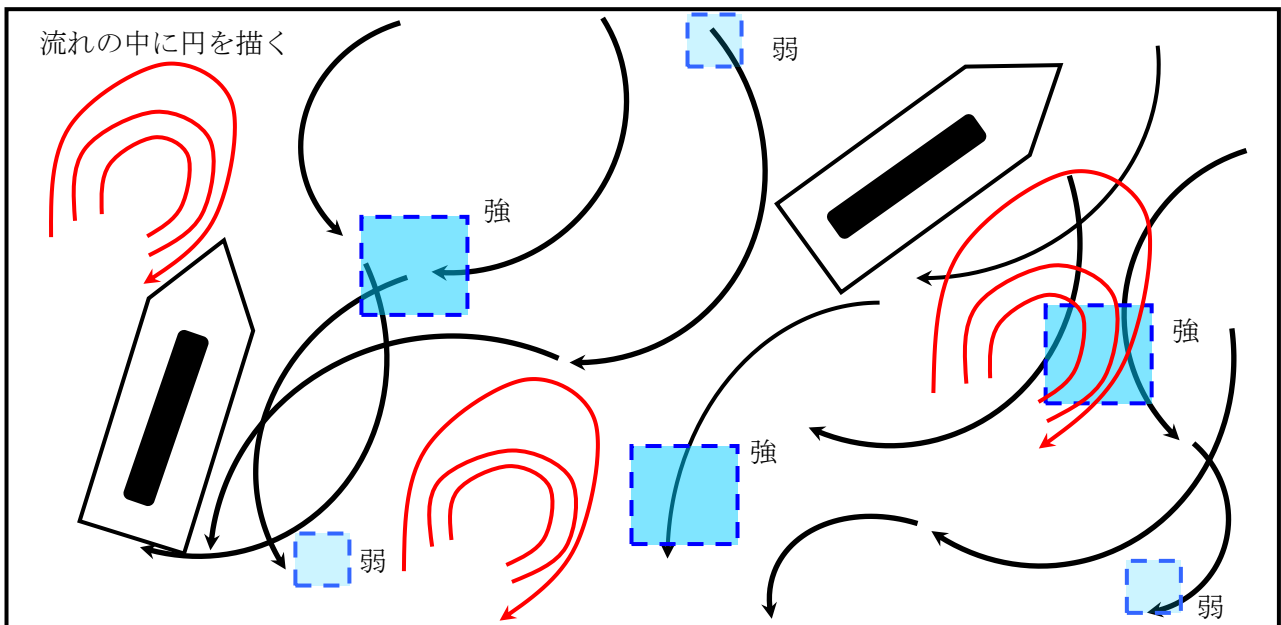


図-2

③ コテ波仕上げ（テラ仕上げ） 施工方法

工程		施工方法	塗回数	使用道具
仕上げ 塗り	下付け	P.3 参照	2	金ゴテ
	上付け ・パターン 付け			金ゴテ
		上付け後、 <u>ただちに</u> 金ゴテでジョイント部分がランダムになるように模様を付けます。 [参照] 図-3、4		金ゴテ

<施工のポイント>

- ・ コテの大きさや形状によってパターンは多少異なります。
- ・ まっすぐ横にコテを引くのではなく、弧を描くようにパターン付けを行います。

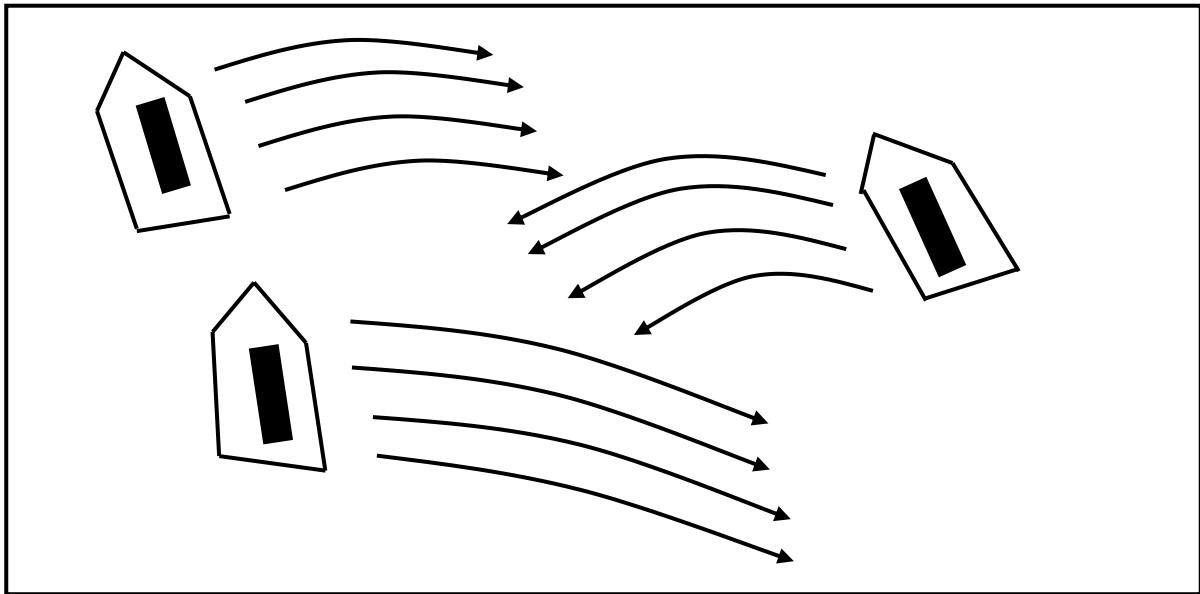


図-3

- ・ パターンがそろわないよう、ランダムに施工します。

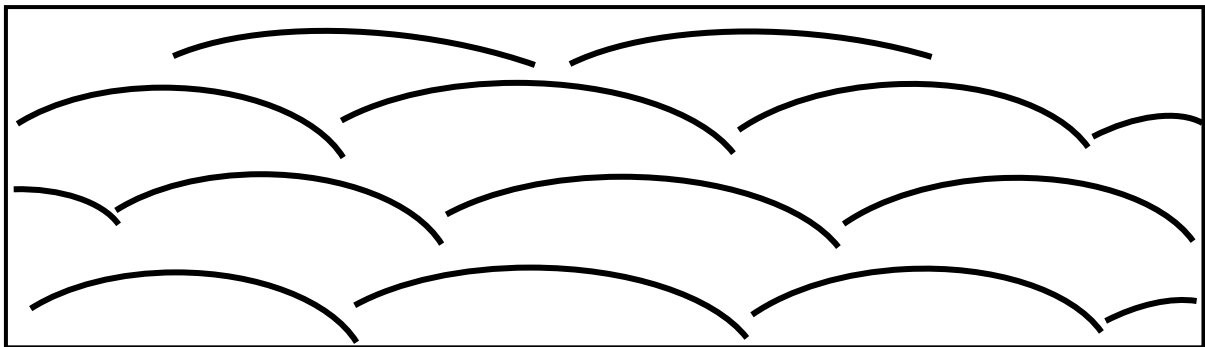


図-4

●諸注意

<使用上の注意>

- S-COAT Mix 塗り付けで、コテ押え時の水引状態が一定でないとき色むらとなることがありますので、注意してください。
- 塗り付け後の水打ちは色むらの原因となりますので、避けてください。特に低温時や濃色の場合は注意してください。
- 墨出しの墨は黒で行ってください。朱で墨出しを行うと表面ににじみ出ることがあります。また、粉末タイプの墨は使用しないでください。
- 気温 5℃以下での施工は避けてください。
- 工事中は周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう養生テープにて養生を行ってください。水刷毛では付着したものが取りにくく、色むらの原因ともなりますので避けてください。
- 杉材等の柱についてはアクがでますので、特に念入りに養生をしてください。
- 施工後は風通しを良くし、乾燥を早めてください。乾燥が遅れると硬化が不十分になる場合があります。また梅雨時期等で特に乾燥が遅れると予測される場合は、施工を避けるか、対策を講じてください。
- 一壁面は一度に混練りし、塗り継ぎの無いようにしてください。
- 練り水、容器、攪拌機などはきれいなものを使用してください。
- 漆喰の性質として、乾燥条件により、艶の出ることがあります。

<安全上の注意>

- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、ただちに清浄な水で最低 15 分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けてください。
- 粉塵等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合は清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けてください。
- 取り扱い後は手洗い及びうがいを十分行ってください。

○飛散した材料は、掃除機等で吸い取って回収してください。

○子供の手の届かないところに保管してください。

<保管上の注意>

○湿気を避け、パレットなどを敷き、床面より離して保管してください。

○開封した材料は早めに使い切ってください。

○製造年月日より、1年以内に使用してください。

<輸送上の注意>

○箱のつぶれ、袋のやぶれ、落下がないように荷崩れ防止等に配慮してください。

○降雨等の水ぬれに配慮してください

<廃棄上の注意>

○都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

その他各製品包装などに記載の注意事項に従ってください。

詳細な内容が必要な場合にはお問い合わせください。

お問い合わせ先 富士川建材工業株式会社

URL <http://www.fujikawakenzai.co.jp/> e-mail mail@fujikawakenzai.co.jp

(本社) TEL 045-772-1811 FAX 045-772-0467

以上